

現代人気作家陶芸展



穴窯から生まれる紫志野
〈紫志野〉 伊藤公洋

志野の豊かで温かな味わいの茶盃や花入、重厚な趣の黄瀬戸の鉢、壺、花入、煎茶器、食器などを得意とする。



作家来場日 25日(水)・28日(土)・29日(日)



信楽・織部に挑む
〈信楽焼〉 澤克典

伝統的な信楽のみに捉われず、弥七田織部や赤織部や志野などの作品も手掛けられ、信楽に新しい風を吹き込んでいます。



作家来場日 25日(水)



陶という素材で詩を詠う
〈セラミックアート〉西村芳弘

陶という素材と技法で人間や動物をモチーフに、詩や物語を連想するようにして創られる作品は、立体的絵画作品とも評されています。



作家来場日 25日(水)



黒が織りなす幻想的な世界
〈備前焼〉 馬場隆志

その自由なフォルムと色彩は、代表作となる「トルソ」をはじめ、「大地の器」「窯変黒」「窯変青」など、様々な作品群を生み出しました。

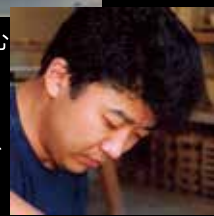


作家来場日 27日(金)～29日(日)



白磁をキャンパスに独自の情景を刻む
〈有田焼〉 辻聡彦

有田磁器に線刻技法により、土のめくれの強弱で具興で描くだけでは表現できない立体感と奥行きを生み出す独自の情景を表現。



作家来場日 26日(木)



～桃山を想ふ～
〈瀬戸赤津〉 山口真人

定評のある黄瀬戸、志野をはじめ、織部、琳派様式を大胆にとり入れた「琳派織部」シリーズなどで人気。



※作家来場日は都合により変更になる場合がございます